JPMXP12-yyKTn〇〇〇-京大ナノハブ課題ID

+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++

利用報告書は京大ナノハブ拠点の**ご利用内容を記載**いただき、**成果などは公開可能な範囲**で構いません

ので、基本的には**公開猶予を必要としない報告書の提出**をお願いします。

**【公開猶予制度】** ・**「論文投稿/学会発表/特許出願を予定など」の理由**により、公開猶予が可能

 ・**期間終了後**、利用者様にて**対外発表/特許出願の結果入力**

+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++

※京大ナノハブ　課題ID：

・ARIM課題番号（yyKTn〇〇〇：空欄可）：

　　→　yy:西暦年度下2桁、n=1or2、〇〇〇:京大ナノハブ課題コードの下3桁（不明な時は空欄可）

※利用形態 ：（主）リストから選択 （副） リストから選択 （←ドロップダウンリストから選択）

※利用課題名（京大ナノハブの利用課題名を、本利用報告書の内容に適した課題名への変更可能）

 ：

※利用者（課題申請者）：

※所属名　：

※公開猶予（最長2年間）：　リストから選択 　　　　（猶予期間：　yyyy/mm/dd）

→　「有り」：該当する理由のチェックボックスをクリックして下さい。（複数選択可。その他→自由記述お願いします）

 [ ] ：論文投稿予定、　[ ] ：学会発表予定、　[ ] ：特許出願予定、

[ ] ：その他（自由記述）→

→　公開猶予「有り」場合は、報告書の保管状況について、下記2項目の承認をお願いします。

1. 猶予期間中も「公開分」と同じストレイジで保管します、② 猶予中の万が一の漏洩の責任は負いかねます

上記①、②を　　リストから選択 （←ドロップダウンリストから選択）

→ 利用報告書の公開は当該年度の翌年の夏頃以降。（2024年度 利用報告書は2025年夏頃以降に公開）

→　猶予期間は年度単位で最長2年間(年度末)。例：2024年度利用報告書は、最長2027年3月31日迄

・課題申請者情報 （公開される利用報告書には掲載されません）

・課題申請者のORCID：

※課題申請者の年齢層　： リストから選択 （←ドロップダウンリストから選択）

※所属機関区分 ：　リストから選択　　 （←ドロップダウンリストから選択）

※国の競争的資金の有無　： 　リストから選択 （←ドロップダウンリストから選択）

※競争的資金の種類　： 　リストから選択 （←ドロップダウンリストから選択）

・その他の場合：　競争的資金の事業名：

 　競争的資金の研究種目名：

※共同利用者氏名：

・協力者氏名（京大ナノハブ支援スタッフ名）：

・横断技術領域 ：（主）　リストから選択 （副）リストから選択　 （←ドロップダウンリストから選択）

・重要技術領域 ：（主）　リストから選択 （副）リストから選択　 （←ドロップダウンリストから選択）

※利用した主な設備ID（5台以内程度）：

※キーワード（自由記述）（半角カンマ「,」で区切る）：

**※【概要】（目的・実施内容 等）**：

**※【実験】**　（主に利用した設備を明記し（ex.設備ID）、どのような実験、試作、計測をしたか記載して下さい）

**※【結果と考察】**（全角100文字以上、または半角200文字以上）

**※【その他・特記事項】**（参考文献、用語解説、他に利用したARIM機関、謝辞 等）：

**※【DOI】**（論文・プロシーディング）：

**※【口頭発表・ポスター発表、その他の論文】**：

※特許出願件数 ：　リストから選択　 （←ドロップダウンリストから選択）

・特許番号（公開される報告書には掲載されません）

※特許登録件数 :　　リストから選択　 （←ドロップダウンリストから選択）

・特許登録番号（公開される報告書には掲載されません）

**※以下、【図・表】**（ファイルの拡張子はJPEG、PNG、BPM、GIF、JPG。ファイルサイズ上限は5MB）